

通学路合同点検対策箇所図（姫山小学校）

H29【NO. 1】 済



（状況）
交通量が多く、外側線や横断歩道が狭くなっています。

（対策）
外側線・横断歩道を引き直しました。

R2【NO. 2】 済



（状況）
道幅が狭く危険です。

（対策）
グリーンベルトを設置（南側）し、「通学路」の文字を路面に表示しました。

H29【NO. 2】 済



（状況）
信号のある横断歩道を横断する際、橋の上で待機したときに、外側線がないため危険です。

（対策）
外側線を設置し、横断歩道を引き直しました。

R7【NO. 1】



（状況）
路側帯が狭く、雨の日には傘が車と接触する恐れがあります。

（対策）
カーブミラー・避難所標識を移設しました。
路側帯の広幅を検討します（学校からの連絡待ち）。

H29【NO. 6 H24-318】 済



（状況）
車両の通行量が多く道幅も狭く危険な道路です。

（対策）
歩道を整備しました。

H29【NO. 3 H24-168】 済



（状況）
水路のある道路を通っているが、路側帯が狭く、信号待ちの車もいるため注意が必要です。

（対策）
水路を暗渠化しました。

H29【NO. 4 H24-169】 済



（状況）
多くの児童が通る道路ですが路側帯が狭い箇所、横断歩道も狭くなっています。

（対策）
グリーンベルトを設置し、横断歩道を引き直しました。

R7【NO. 2】 済



（状況）
交差点を渡る際、国道から進入する車に注意が必要です。

（対策）
交差点をカラー舗装しました。

R2【NO. 1】 済



（状況）
道路拡張に伴い、交通量が増え車の進入も増加しています。

（対策）
外側線を設置しました。

H29【NO. 5】 済



（状況）
歩道橋を下りた際、歩道橋がブロックとなり見通しが悪いので、自転車と接触する危険があります。また、止まれが薄くなっています。

（対策）
歩道橋を下りた先にラバーボールを設置し、歩行者がすぐに左側に出ないように改善しました。また、止まれを引き直しました。